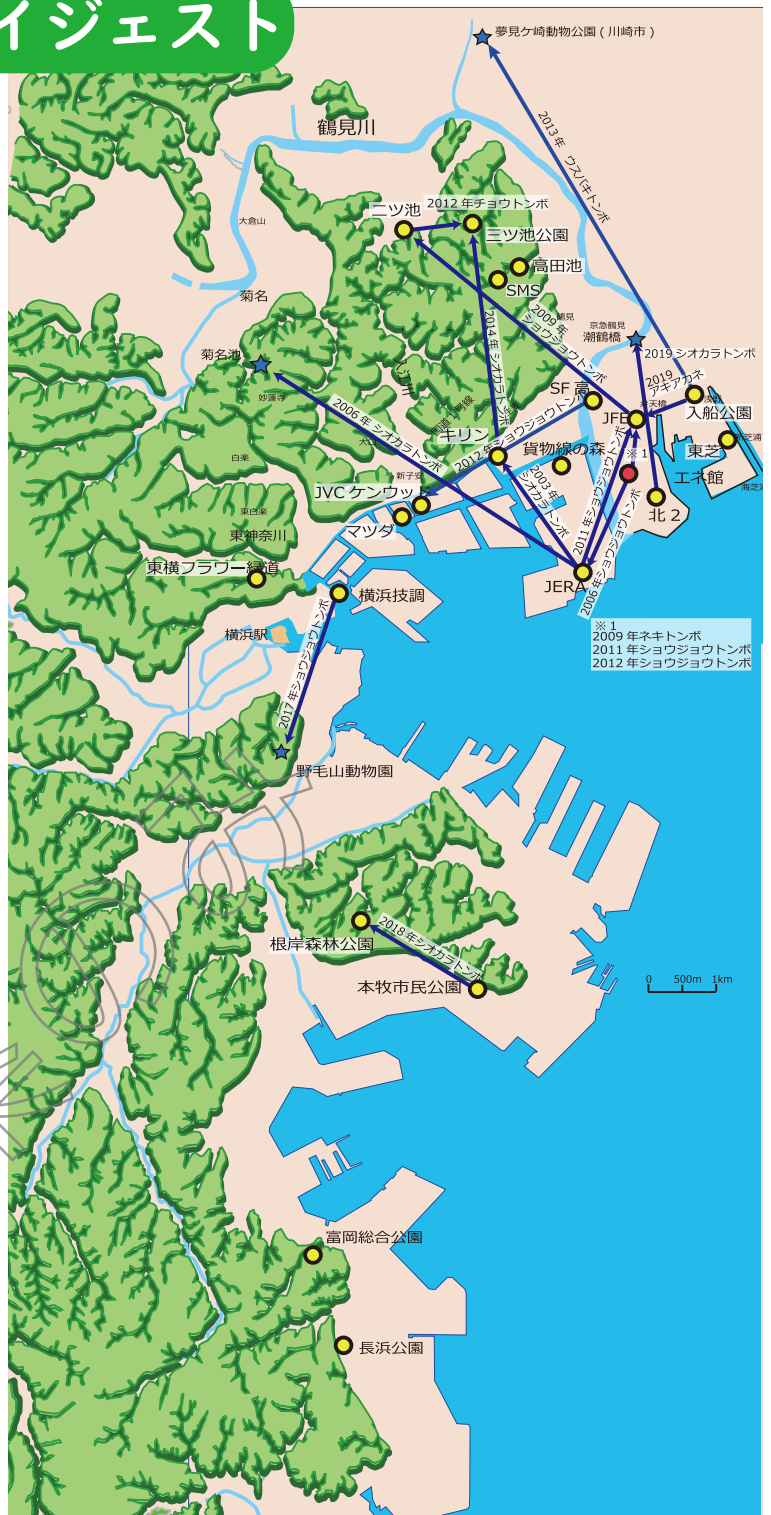


2019年度の調査結果ダイジェスト



未曾有の猛暑が予測された2019年度の「トンボ」はドコまで飛ぶか調査（本調査）は、前年同様に臨海部11地点、内陸・南部6地点の計17地点で行われた。臨海部では全調査地点の合計で9種、448頭のトンボが捕獲された。前年は6種であったことより、3種増加したことになるが、これには今年から臨海部の集計に加えたJERA（旧東京電力）の1種も加わっている。9種は過去16年間の捕獲種数の95%信頼区間内であることより平年並み、個体数448頭は同信頼区間を大幅に上回り、有意に平年より多かったことがわかった。

2015年度まで夏の調査では毎

年必ず捕獲されていた基本6種のうちの1種チヨウトンボが、2016年、そして2018年と捕獲されなかったが、今年度もこの種の捕獲数はゼロであった。臨海部ではいったん生息が途絶えたかと判断すべきであるが、二ツ池など隣接内陸の生息地では若い個体の乱舞が見られるなど、まだまだ復活は期待できよう（以後、「基本6種」は1種が欠けたため「基本的種類」（注）と言い換える）。

次に優占3種（シオカラトンボ・シウジョウトンボ・オオシオカラトンボ）についてだが、このうちのシオカラトンボは2018年に個体数を一挙に倍加したが、本年度も231頭

などでは6〜7月ごろに行われるが、ここ臨海部では以前より真夏の8月であることが知られていた。その再現が、東芝とJVCの2地点で同時に確認できたことは大きい。

一方、内陸は二ツ池で、基本的種類の他にコシアキトンボが21頭、そして過去ここだけでしか捕獲されていないコフキトンボが5頭捕獲された。昨年6頭であったウチワヤンマが一挙に9頭捕獲されたほか、初めて北上種のタイワンウチワヤンマも2頭捕獲された。ただ、2016年を最後に捕獲されていないリスアカネは、今年（2019年）も確認することができなかった。

なお、今年度シオカラトンボにおいて、8月2日北2で標識・放逐された雄1頭が、8月22日鶴見川河畔で捕獲された。これにより2.3km離れた地点への移動と20日間の生存が確認されたことになるが、それだけでなく、この個体は2018年にJVCにおいて捕獲されたシオカラトンボと同様の腹部背面の白いワックス部の発達の弱い黒色部が腹部全体の半分を占めるケンウッド型雄であり、目下この研究に大いに役立つている。

明星大学理工学部非常勤講師
田口正男（農学博士）

(注) 基本的種類：シオカラトンボ、シウジョウトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、ギンヤンマ

今年のトピックス！

今年の調査で報告されたトピックスの中から事務局でベスト5を決定しました！

第1位

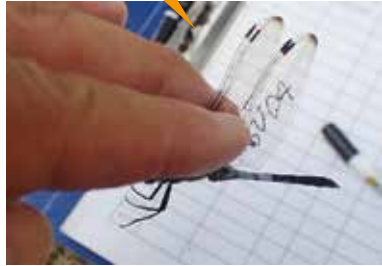
腹部の黒いケンウッド型シオカラトンボ、今年も出現

臨海部に多い秘密が明らかに。一般報告会も検討中。(詳細は6月にトンボ学会で発表)

腹部の半分が黒いシオカラトンボ



一般的な型



ケンウッド型

第30回全国トンボ・市民サミット「横浜大会」参加

実行委員会に参加し事前準備や当日の運営に貢献。同少年部はトンボワークブックを作製するなど大活躍した。

第2位



二ツ池ジオラマも製作



ジュニア調査員認定制度を始める

トンボ調査の技術や知識を修得した子どもたちを認定。(詳細は本誌 P7 参照)

報告会と表彰式の記念写真



第3位

シオカラトンボの移動を確認

8月22日に鶴見川潮鶴橋近くで服部朝臣くん(4歳)がシオカラトンボを採った。その翅には「2w02」と書かれており20日間で2.3kmを飛んでいることを確認出来た。



シオカラトンボを採った服部朝臣くん



写真提供：望月朝子氏

第4位

トンボとり大作戦に幼児と保護者の参加者が増える

SDGs に向け、未来の環境をより良くする大きな力となるだろう。



トンボとり大作戦 白幡池公園

その他のトピックス

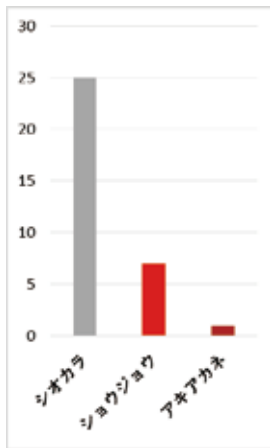
- 初捕獲** ニツ池でタイワンウチワヤンマの雌雄各1頭。(今後どうなる、北上種の増加。温暖化の影響か)
- 久しぶり** 東芝でハラビロトンボ再来(2009年キリンビール以来) JVCケンウッドと東芝でアキアカネ復活
- 出現せず** JERAのチョウトンボ(来年度は姿を見せて！)

○事務局にうれしい問い合わせがあった。「幼稚園児でも参加できるか」「障害があるが参加できるか」というものだ。いずれも参加できることをお伝えした。多くの方々の参加により今後の活動のさらなる広がりが楽しみだ。



本調査

株式会社 JVC ケンウッド



①3種 33頭
②たくさん捕獲されたシオカラトンボをよく見ると、腹部黒色部の長さが図鑑にある一般的なものより長いものがあることを発見し、みんな興味津々だった。

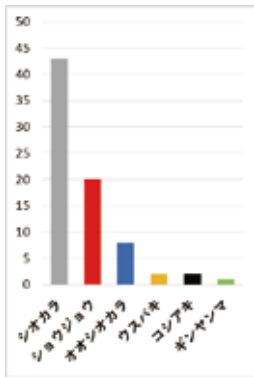


8月初旬に市民・専門家・企業・行政が協働で実施している調査。各調査地点ごとに3回実施。

- ①マーキング種数と頭数
- ②トピック

■ アキアカネ	■ ウスバキトンボ
■ ウチワヤンマ	■ オオシオカラトンボ
■ オニヤンマ	■ ギンヤンマ
■ クロスジギンヤンマ	■ コオニヤンマ
■ コシアキトンボ	■ コノシメトンボ
■ コフキトンボ	■ シオカラトンボ
■ ショウジョウトンボ	■ タイワンウチワヤンマ
■ ナツアカネ	■ チョウトンボ
■ ハラビロトンボ	

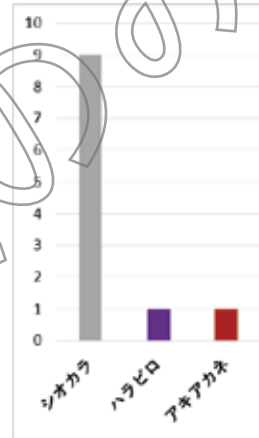
麒麟ビール株式会社 横浜工場



①6種 76頭
②構成種に大きな変化はない。目視でクロスジギンヤンマを確認している。



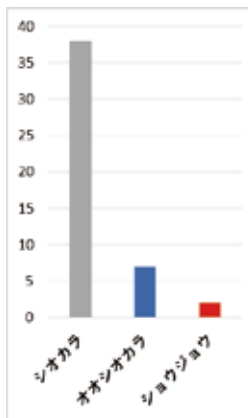
東芝エネルギーシステムズ株式会社 京浜事業所



①3種 11頭
②昨年、池に工業用水を引き込みビオトープの流れに常時水が溜まるように改善され、ハラビロトンボを捕獲することができた。



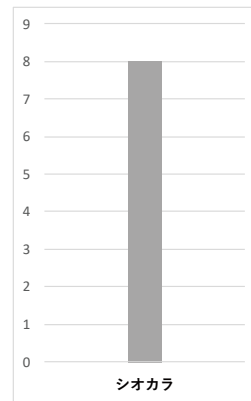
JFE エンジニアリング株式会社 横浜本社 JFE トンボみち



①3種 47頭
②捕獲は出来なかったが、目視でギンヤンマとウスバキトンボを確認している。



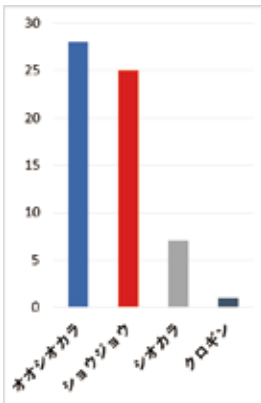
マツダ株式会社マツダ R&D センター横浜



①1種 8頭
②シオカラトンボ1種の記録だが、目視でショウジョウトンボ、ウスバキトンボを確認している。他に、カルガモの巣も発見した。



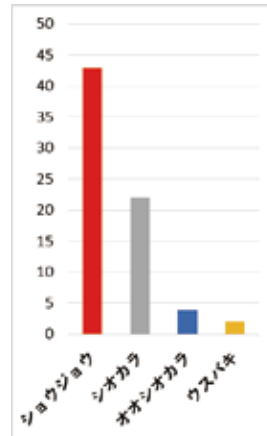
株式会社 JERA 横浜火力発電所



- ①4種 61頭
- ②発電所内敷地内の樹林に囲まれたトンボ池。オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボが多い。チョウトンボは今年も捕獲できなかった。



横浜サイエンスフロンティア校



- ①4種 71頭
- ②今年はシオカラトンボよりショウジョウトンボの方が多かった。暑さの中、理科調査研究部の中学生たちが頑張った。



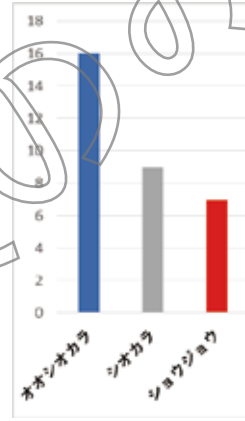
国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所



- ①2種 10頭
- ②2種のみ確認であった。「目の前の広い海、トンボたちは素通りで池に休む。不思議だなあ。」



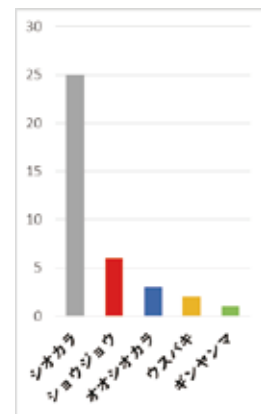
貨物線の森緑道



- ①3種 32頭
- ②過去6年間で、捕獲数は最少であった。オオシオカラトンボが最多なのは初めてである。



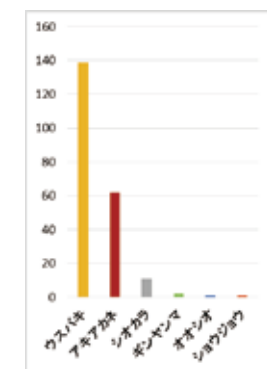
北部第二水再生センター



- ①5種 37頭
- ②シオカラトンボが多い。調査員の女性が片手に日傘、片手に捕虫網姿でシオカラトンボをたくさん捕獲した。



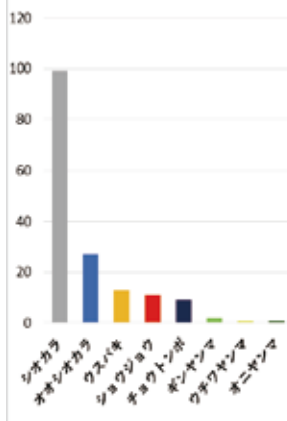
入船公園



- ①2種 62頭
- ②確認種数は2種であるが、捕獲数は62と多い。「草を食むヤギの傍らでのどかに? トンボとり」



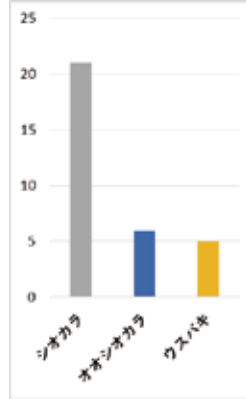
三ツ池公園



- ①8種 163頭
- ②久しぶりにウチワヤンマが捕獲された。ウスバキトンボが2013年以降で最も少なかった。



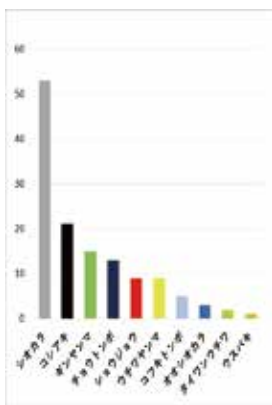
SMS ばいくショップ



- ①3種 32頭
- ②構成種に特に大きな変化は見られなかった。「捕り逃がしたギンヤンマは大きかったなあ〜」



ニツ池

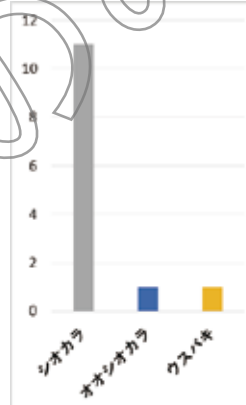


- ①10種 131頭
- ②北上種であるタイワンウチワヤンマが初捕獲された。羽化殻も確認されており、定着しているようだ。



写真撮影：三浦友実氏

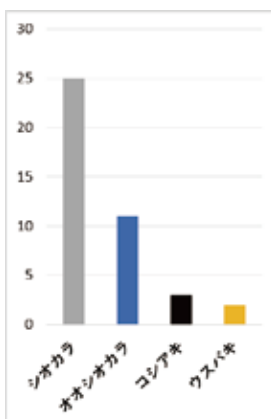
東横フラワー緑道



- ①3種 13頭
- ③ほぼシオカラトンボのみで少し寂しいものだった。ギンヤンマは目視でのみ確認された。



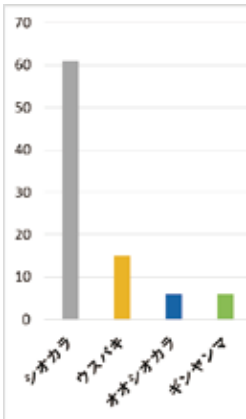
高田池



- ①4種 41頭
- ②今年は、捕獲頭数が昨年の約2倍に増えた。コシアキトンボがよく見られた。



本牧市民公園

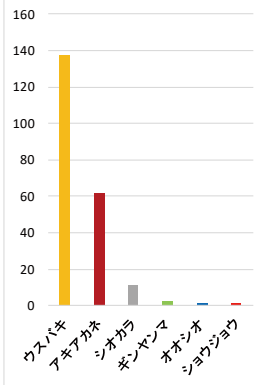


- ①4種 88頭
- ②横浜の公園とんぼ池発祥の地。チョウトンボは捕獲できなかったが、毎年目視確認されている。



入船公園

- ①5回
- ②6種 214頭
- ③広場でウスバキトンボが乱舞している。夏は、背が高いヒマワリの周りを、こどもたちがトンボを捕ろうと走り回っていた。



トンボとり大作戦

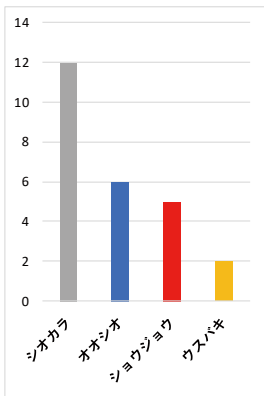
子どもたちにトンボの生態や地域の環境を知ってもらうために実施している調査。6月から10月まで実施しており、調査回数は各調査地点で異なる。

- ①調査回数
- ②マーキング種数と頭数
- ③トピック



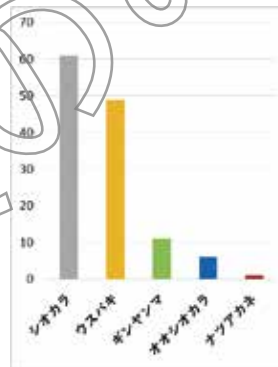
麒麟ビール株式会社 横浜工場

- ①2回
- ②4種 25頭
- ③オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボが多く暮らすレストラン前のピオトープ。



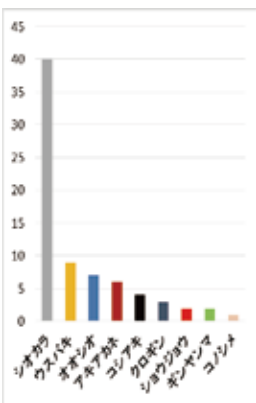
本牧市民公園

- ①3回
- ②5種 128頭
- ③トンボ池 30年の歴史、子どもたちはトンボとりに慣れている。今年は雨で2回も中止になった。



JFE エンジニアリング株式会社 横浜本社 JFE トンボみち

- ①9回
- ②9種 74頭
- ③捕獲したトンボは、年間で9種類。大作戦調査地点で最も多い。



根岸森林公園

- ①5回
- ②7種 80頭
- ③日本初の洋式競馬場の跡地から生まれた公園。7種類のトンボが捕獲された。

